

ニーズWG 活動報告

2017.9.6
ニーズWG

活動方針：

『ものマーケティング』から『ことマーケティング』の発想より、EPFC参画企業の協業による提案活動・仕組みで、「お客様の要望に合わせ、お客様が『こと』を実現するためには、どのようなシステムを構築・サービスを提供するのがお客様に最適なのかという発想を持った取組みで常に活動する。」

そこには我々がストーリーを描く『ニーズ』（気付き）があり、『こと』を具現化する機会がある。

さらに、EPFC参加企業が協業可能であるビジネスのニーズを創出することである。

活動方針に従い、下記項目に関する検討、推進を行うことを活動目標とする

① ケーススタディ

国内外の事例調査より適用業態、分野、ビジネス規模等を複数の事例を取り上げ、検討する。

② ニーズヒアリング

上記①よりユーザ訪問にて具体的な課題等のヒアリングを行い、ニーズ創出、深堀を行う。

③ ニーズ市場と適用分野

上記①、②より、必要により実証実験（POC）を実施し、適用分野への絞り込みを検討する。

④ 今期のゴール設定

活動方針・目標に沿った切り口を示し、今期のゴールを設定する

⑤ 今後の活動方針の策定

上記①～④の活動を通じて、IoTビジネスのトレンドに沿った形で且つ、時間軸(3年後、5年後など)を意識した今後の活動方針を策定し、報告をまとめる。

ジャパンシステム株式会社（リーダー）

凸版印刷株式会社（サブリーダー）

富士電機株式会社

東芝マイクロエレクトロニクス株式会社

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会（SIIQ）

カウラ株式会社

株式会社東京ウエルズ